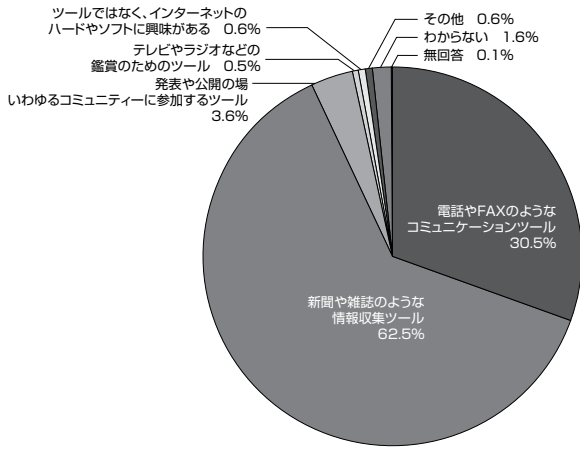


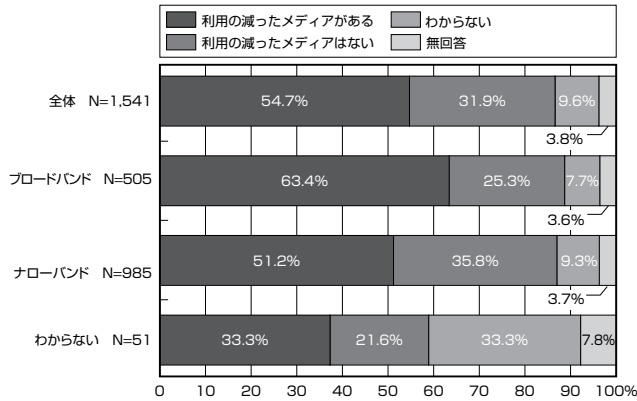
ブロードバンド
& ナローバンド

資料 1-2-24 インターネットに対する考え方 N=1,541



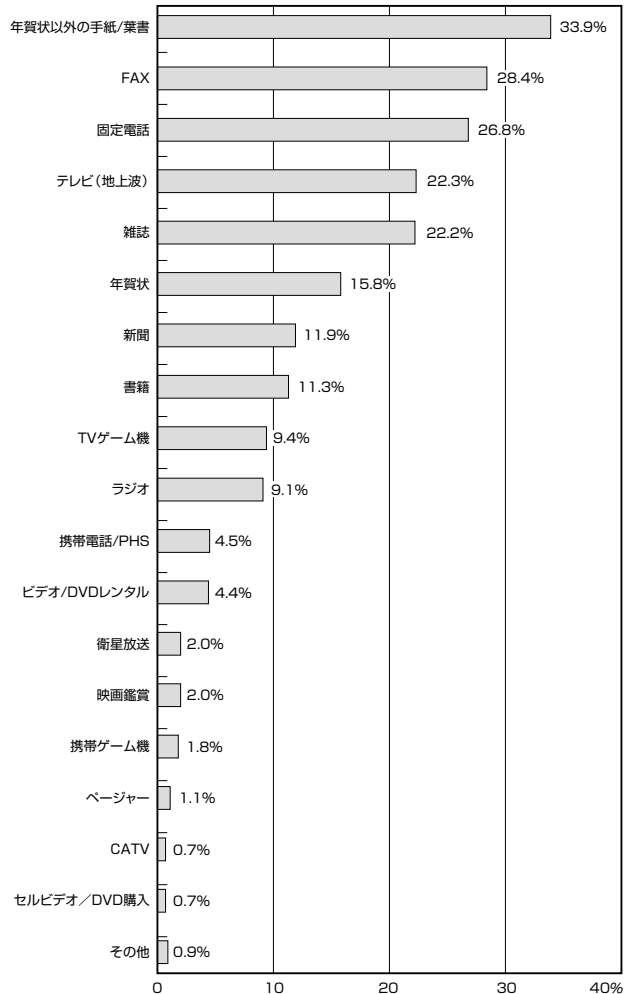
© Access Media/impress,2002

資料 1-2-25 ブロードバンド/ナローバンド別
インターネットを使うことで利用の減ったメディアの有無



© Access Media/impress,2002

資料 1-2-26 インターネットを使うことで利用の減ったメディア N=843



© Access Media/impress,2002

解説

え方を聞いたものである。大きく分けて、コミュニケーション手段としてのツールという位置付けと、メディア的な情報を出し入れする情報収集ツールとしての側面がある。昨年と比べると「新聞や雑誌のような情報収集ツール」(昨年53.9%→今年62.5%)として捉えている回答者がやや増えている。ブロードバンド/ナローバンド別では、ブロードバンド利用者のほうがナローバンド利用者に比べ、情報収集ツールとして捉えている率が高い。

また、インターネットを利用することで減少した他のメディアがあるかどうかについては、全体の過半数の54.7%が「ある」と答えている(資料1-2-25)。特にブロードバンド利用者では「利用の減った他のメディアがある」率が63.4%と高い傾向である。実際に利用の減ったメディアとして今年は選択肢を増やし、ゲーム機やビデオなども加えている。最も興味深いのは全体では22.3%のテレビ(地上波)や新聞(11.9%)、雑誌(22.2%)については、

ブロードバンド利用者の回答率がナローバンド利用者に比べてかなり高くなってきている点である(資料1-2-26)。ブロードバンドの場合、音楽や映像が楽しみ常時接続が可能のため、利用者の絶対的な視聴時間はどうしても既存のメジャーメディアとぶつかることとなる。そのような状況がよい本格的になってきたことがこうしたデータからも裏付けられるようになった。(矢野さよみ アクセスメディアインターナショナル株式会社)



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp